

2012年9月27日

「環境」「教育」「人権」および「被災地復興」の分野で先駆的な活動をするNPOに合計 300 万円を助成

「日本興亜おもいやりプログラム」2012 年度助成先決定

日本興亜損害保険株式会社（社長：二宮雅也）は、毎年「日本興亜おもいやりプログラム」として、「環境」「教育」「人権」の3分野で先駆的な活動をしている団体の自立・自稼動を支援することで、非営利セクターの発展とともに健全な社会の進展に貢献することを目的に、寄付を行っています。本年度は、上記3分野に加え東日本大震災後の被災地復興に取り組む活動も助成対象としました。このたび、NPO支援の専門組織である特定非営利活動法人パブリックリソースセンターとの協働のもと2012年度の助成先6団体を決定し、総額300万円の助成を行いますのでお知らせします。

なお、「日本興亜おもいやりプログラム」は、日本興亜損保と日本興亜おもいやり倶楽部*が同額を拠出して寄付を行う制度で、2005年度の開始以降の支援額は、総額2,200万円（44団体）に達しました。

*「日本興亜おもいやり倶楽部」とは、日本興亜保険グループの役職員有志を会員とするマッチングギフト制度です。会員が毎月の給与から拠出した金額に会社が同額を上乗せして寄付を行うことにより、会員と会社の両者が一体となり社会貢献活動を行っています。

■ 支援期間

2012年10月1日～2013年9月30日までの1年間

■ 助成金額

各団体へ50万円

＜2012年度「日本興亜おもいやりプログラム」助成先＞

分野	団体名（所在地）	助成対象の活動
環境	特定非営利活動法人 きょうとグリーンファンド（京都府）	市民協働発電所づくりの中間支援の枠組みを新たに開発するために、 「相馬おひさまプロジェクト」を通じて、資金調達等のノウハウの蓄積をはかる
教育	一般財団法人 学習能力開発財団（宮城県）	発達障害のある生徒を対象にした、個別学習支援を拡大・充実するための、 ボランティア養成研修プログラムの作成・実施
	特定非営利活動法人キズキ（東京都）	ドロップアウトからの学び直しの実態について白書としてまとめ発信する ことにより、行政や企業との連携および新規事業の拡大をはかる
人権	特定非営利活動法人 女性と子どものエンパワメント関西（兵庫県）	新規事業（DV被害女性や母子家庭支援のための親教育プログラム） 立ち上げのための、ファシリテーター養成講座
被災地復興	社会福祉法人 仙台いのちの電話（宮城県）	仙台以外の被災地で新たに「いのちの電話」活動を展開していくための、 人材育成事業 ～心の支援に関わる公開講座プロジェクト～
	特定非営利活動法人 市民放射能測定所（福島県）	組織としての実績を積み、測定者のスキルアップをはかるための、 ホールボディーカウンターによる高校生無料測定プロジェクトの実施

以 上

